

令和 5 年 9 月 1 0 日 執 行 予 定  
山 形 市 長 選 挙

# 指 定 施 設 に お け る 不 在 者 投 票 事 務 の 手 引 き

山 形 市 選 挙 管 理 委 員 会

## 目 次

1	不在者投票とは	1
2	指定施設とは	1
3	不在者投票をすることができる者は	1
4	不在投票ができる期間は	2
5	不在者投票管理者	2
6	不在者投票における立会人	4
7	投票記載場所の設備	5
8	不在者投票の手続き	6
9	不在者投票の送致	8
10	投票用紙等の返還	9
11	所要経費について	9
	(参考) 代理投票の際の注意点	15
	(参考) 不在者投票事務チェック表	16

## 凡 例

法 公職選挙法（昭和25年法律第100号）

令 公職選挙法施行令（昭和25年政令第89号）

## 1 不在者投票とは

選挙における投票は、公職選挙法に従い原則として選挙人が「選挙の当日、自ら投票所に行き、選挙人名簿又はその抄本の対照を経て、投票しなければならない。」とされており、投票用紙は「選挙の当日、投票所において選挙人に交付される。」ことになっております。（公職選挙法第44条第1項、第45条第1項。以下「法」という。）

しかし、数多い選挙人の中には選挙期日（投票日）当日に、仕事に従事すること、病院に入院していること、旅行していること、などが見込まれる人がいます。

期日前投票・不在者投票は、このような人々のために、投票日の前でも投票できるように考えられた制度です。このうち不在者投票は、不在者投票のできる人（法第49条）が一定の手続きによって、投票日の前にあらかじめ投票用紙の交付を受け、投票日の前日までに法で定められた場所で投票する制度です。

## 2 指定施設とは

指定施設とは、都道府県選挙管理委員会が指定した病院、老人ホーム、身体障害者支援施設、国立保養所及び保護施設のことです。

（公職選挙法施行令第55条第2項、第4項第2号。以下「令」という。）

## 3 不在者投票をすることができる者は

指定施設で不在者投票ができる者は、次のすべての条件を満たしていなければなりません。

(1) 選挙人であること。（法第49条）

① 不在者投票をしようとする選挙の選挙権を有していること。

② 選挙人名簿に登録されていること。

(2) 指定施設に入院中又は入所中であること。（令第55条第2項、第4項第2号）

(3) 投票日当日、次のいずれか1つに該当する見込みであること。（法第49条第1項）

① 疾病、負傷、妊娠、老衰、身体の障害若しくは産褥にあるため歩行が困難であること。（法第48条の2第1項第3号）

② 歩行が可能である者については、自分の登録されている選挙人名簿の属する投票区の区域外にある指定施設に入院中又は入所中であること。（法第48条の2第1項第2号）

## 4 不在者投票ができる期間は

不在者投票ができる期間は、選挙期日（投票日）の告示日の翌日から選挙期日（投票日）の前日までです。したがって、山形市長選挙において不在者投票ができる期間は、9月4日（月）から9月9日（土）までです。

時間は、午前8時30分から午後5時までです。（法第270条、令第58条第1項）

## 5 不在者投票管理者

- (1) 不在者投票管理者（法第49条、令第55条）とは、不在者投票事務全般を管理執行する人のことで、不在者投票は不在者投票管理者の管理のもとで行わなければならない、不在者投票管理者は不在者投票が選挙人の自由な意思で公正に行われるために配慮しなければなりません。その職務は、不在者投票の場所において、法に従い次のことを行うことです。

- ① 不在者投票に関する手続きのすべてについて最終的な決定を行うこと。
- ② 不在者投票事務に従事する人を指揮監督し、不在者投票事務全般を管理執行すること。

- (2) 指定施設における投票管理者は、原則として、その指定施設の長になります。（令第55条第2項、第4項第2号）

この場合、当該選挙の選挙権の有無に関わらず当然に不在者投票管理者となります。したがって、不在者投票管理者たる指定施設の長がその職務を職員等に委任することはできません。ただし、次の場合は、指定施設の長の職務を代理すべき者が不在者投票管理者となります。

- ① 指定施設の長が選挙の候補者となった場合（令第55条第8項、第9項）  
（候補者としての身分を有する期間に行われるすべての選挙にわたって適用され、候補者となっている選挙に限られません。）
- ② 指定施設の長が外国人である場合（令第55条第8項、第9項）
- ③ 指定施設の長に事故があったり欠けた場合（令第55条第9項）

なお、不在者投票管理者たる指定施設の長との連絡体制が整っている等、実質的に不在者投票管理者による管理が及んでいるのであれば、投票の際、投票場所に指定施設の長が実在しなくても差し支えありません。

- (3) 不在者投票管理者が管理する主な仕事は次のとおりです。

- ① 入院又は入所中の選挙人の依頼によって、その選挙人に代わって不在者投票の用紙及び封筒の交付を、その選挙人名簿の属する市町村の選挙管理委員会に請求すること。（令第50条第4項）
- ② ①によって投票用紙等の交付を受けたときは、これを選挙人に渡すこと。（令第

53条第4項)

- ③ 投票用紙、不在者投票用封筒及び不在者投票証明書（個人で請求した場合のみ）を点検すること。（令第58条第1項、第2項）
- ④ 投票人が不在者投票をする際に選挙権を有する立会人を選び、不在者投票に立ち会わせること。（令第58条第3項において準用する令第56条第3項）
- ⑤ 不在者投票記載所の設備をすること。（令第58条第4項において準用する令第32条）
- ⑥ 選挙人から代理投票の申請を受けた際にその許否を決定すること。（令第58条第4項において準用する令第56条第4項）
- ⑦ 不在者投票をその選挙人名簿の属する市町村の選挙管理委員会に送致すること。（令第60条第1項）

以上の仕事は、すべて不在者投票管理者の管理のもとで行われるため、①～⑦について実際の事務を職員が行うに当たっては、不在者投票管理者たる指定施設の長の決裁を受け、その文書を保管する必要があります。

(4) 不在者投票管理者が留意すべき事項は、次のとおりです。

- ① 不在者投票は選挙期日(投票日)の前に選挙人に投票させる例外的な制度なので、その取扱いは厳格にし、前もって分担事務全体の処理について計画を立て、スムーズに事務処理ができるように計画してください。
- ② 勘や過去の経験に頼らず、常に法規・実例・判例等に根拠をおいて、的確に処理すること。疑問点については、自分だけの考えで処理せず選挙管理委員会へ問い合わせてください。
- ③ 投票の際に立会人等から候補者の氏名を示唆され、あるいは記載中にのぞかれる等の投票干渉を受けるという法的トラブルが生じないように、事務の管理執行に当たっては、自由・公正・平等に努め、投票の秘密保持に万全を期し、選挙人に不安を抱かせることのないよう配慮してください。
- ④ 不在者投票管理者、不在者投票の立会人及び代理投票補助者については、法第255条の規定により職権濫用による選挙の自由妨害罪、投票の秘密侵害罪、投票偽造罪、立会人の義務を怠る罪等の刑事罰の適用がありますので、これらの罰則に抵触することのないように注意するとともに、不在者投票の違法な管理執行によって選挙が無効とされることのないように十分留意ください。
- ⑤ 不在者投票管理者は、不在者投票に関し、その者の業務上の地位を利用して選挙運動をすることができません。（法第135条第2項）

## 6 不在者投票における立会人

- (1) 投票所における立会人とは、投票所において投票に立会い、投票が公正に行われるように監視する役割を持ちます。不在者投票についても立会人の立会いは必要で、立会いのないところで行われた不在者投票は無効となります。
- (2) 不在者投票施設の立会人は、不在者投票管理者が、選挙権を有する者から最低1人を選任します（令第58条第3項において準用する令第56条第3項）。この立会人として必要な要件は、単に選挙権を有すれば足りるのであって、必ずしも住所要件等その不在者投票が行われる選挙の選挙権の要件すべてを具備していることを要しません。また、立会人は、不在者投票管理者や不在者投票事務従事者が兼任したり、代理投票補助者と兼ねることはできません。
- (3) 不在者投票管理者は、市町村の選挙管理委員会が選定した外部立会人を立ち会わせる等の方法により、不在者投票の公正な実施の確保に努めなければならないこととされていますので、外部立会人の選任について積極的に検討して下さい（法第49条第10項）。外部立会人の選任の手続きは、不在者投票管理者と山形市選挙管理委員会事務局との間で事前に連絡・調整し、選任の手続きを経ることになります。また、外部立会人に要した経費は、所定の請求手続きを経て、不在者投票管理者に支払われます。

### 《外部立会人の選任等の手続き》

- ① 指定施設は、山形市選挙管理委員会事務局へ外部立会人選定依頼文書を送付する。  
【別紙1】
- ② 山形市選挙管理委員会事務局は、選定した立会人へ外部立会人選定通知【様式第2号】、指定施設へ外部立会人選定通知【様式第3号】を交付する。
- ③ 指定施設は、立会人へ立会人選任書【様式第4号】を交付する。
- ④ 指定施設は、立会人から立会人承諾書【様式第5号】を受領する。
- ⑤ 指定施設は、実際に立会いに従事した時間に応じ、謝金等として表1の金額（上限）を支払う。
- ⑥ 指定施設は、外部立会人から領収書【様式第6号】を徴する。
- ⑦ 指定施設は、所定の請求書に山形市選挙管理委員会事務局が交付した選定通知【様式第3号】のコピーと外部立会人から徴した領収書のコピー【様式第6号】を添えて、山形市選挙管理委員会事務局へ提出する。
- ⑧ 指定施設に対し、山形市選挙管理委員会事務局から外部立会人に要した経費が支払われる。

表 1

立会いに従事した時間	謝金等の額（上限）
1 時間（1 時間以下）	1,282 円
2 時間（1 時間を超え、2 時間以下）	2,565 円
3 時間（2 時間を超え、3 時間以下）	3,847 円
4 時間（3 時間を超え、4 時間以下）	5,129 円
5 時間（4 時間を超え、5 時間以下）	6,412 円
6 時間（5 時間を超え、6 時間以下）	7,694 円
7 時間（6 時間を超え、7 時間以下）	8,976 円
7 時間を超える場合	10,900 円

※1 時間未満の端数は切り上げとなります。

※食事等の休憩時間は従事した時間には含みません。

- (4) 立会人は、不在者投票の手続き全般にわたって立会い、不在者投票が公正に行われているか監視します。したがって、立会人が選挙人に対して候補者の氏名を示唆する等、投票干渉との疑惑を受けるような行為をしてはいけません。また、公正に行われた投票について、投票用紙を入れ、封をされた不在者投票用外封筒の裏面に署名(自署)します。この署名がない不在者投票は、投票当日投票管理者において不受理とされますので注意してください。

## 7 投票記載場所の設備

- (1) 不在者投票管理者は、投票記載場所について、他人が選挙人の投票記載を見ることができないように投票の秘密を保持し、また投票用紙の交換その他の不正が行われることを防止するために、相当の設備をしなければなりません。(令第58条第4項で準用する令第32条)
- (2) 投票記載場所に候補者の氏名等を記載したポスター等の文書が掲示してあるときは、これを撤去しなければなりません。
- (3) 投票する選挙人の便宜を図るためであっても、投票記載場所及びその周辺に候補者の氏名等を掲示することはできません。(令第125条の4)

また、次の点にもご留意ください。

- ① 投票場所の中において、施設職員が候補者氏名等の記載された文書を提示又は掲示することや候補者氏名等を口述することは、選挙人への便宜を図るためであっても、結果として違法な手段による選挙運動及び投票の誘導・干渉となるおそれ

があることから差し控えてください。

- ② 選挙人が候補者の氏名を忘れないように候補者氏名等が記載された文書(選挙運動用ビラや選挙公報など)を自発的に投票所に持ち込むことは、不在者投票管理者(各指定施設の長)が、他の選挙人に対する投票の誘導・干渉とならないと認める場合においては、差し支えありません。
- ③ 選挙公報や自作の候補者等の氏名が記載された書類等を施設の廊下や掲示板などに掲示する行為は、選挙運動用文書図画の掲示について制限する公職選挙法に抵触するおそれがあることから差し控えてください。
- ④ 選挙人への便宜を図る目的で、施設が選挙公報や新聞記事の切り抜きを投票記載場所でないところ(例えば、投票所入口近くの廊下)に置いておき、選挙人が各自で閲覧できる状態にしておくことは差し支えありませんが、選挙公報を加工し特定の候補者の部分を強調したり、特定の候補者に係る新聞記事のみを用意したりするなど、公平性を欠くような態様とならないようご注意ください。
- ⑤ 入院中の新型コロナウイルス感染症患者在投票を希望した場合であっても、不在者投票ができるよう、特段のご配慮をお願いします。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症患者在投票をする場合には、選挙人が投票用紙や不在者投票用封筒に直接触れることがないよう、マスクや手袋等を着用させたいうえで投票させてください。選挙人が手袋等を着用できない場合には、投票用紙や不在者投票用封筒に記載する前に手指等の消毒をさせてください。

## 8 不在者投票の手続き

### (1) 投票用紙等の請求方法

- ① 次のいずれかの方法により、選挙人が登録されている選挙人名簿の属する市町村選挙管理委員会委員長あて、選挙期日の前日まで、直接又は郵送等によって行うこととなっています。

#### (ア) 本人請求の場合

- ・ 宣誓書兼投票用紙等請求書(11頁【記載例2】参照)

#### (イ) 指定施設の長が選挙人の請求に基づき、選挙人に代わって請求する場合

(10頁【記載例1-1、1-2】参照)

- ・ 投票用紙等請求書(12頁【記載例3】参照)

- ＊ 依頼書は、選挙人の自書によることが望ましいものですが、自書することが困難な選挙人については、代筆でも構いません。その場合は、依頼書の余白に記録して下さい。また、点字で投票する場合は、選挙人自らが請求する場合はその旨の申立を、指定施設の長が選挙人に代わって請求する場



合は、投票用紙等請求書の備考欄にその旨を記載して下さい。

(2) 不在者投票の方法

- ① 選挙人が投票用紙を持参し、指定施設等で不在者投票を行わせる前にしなければならないことは次のとおりです。

(ア) 投票用紙等の点検

不在者投票管理者は、選挙人にその投票用紙等を提示させ、所定のものであるかどうか、選挙人であるかどうかを確認すること。(令第58条第1項)

(イ) 投票用紙に候補者の氏名等がすでに記載してある場合の措置

投票用紙に候補者の氏名等がすでに記載してある場合は、不在者投票管理者は選挙人に投票用紙等を返還し、選挙人の名簿登録地の選挙管理委員会委員長に、その投票用紙と引換に再交付の請求をさせたいえ、所定の不在者投票を行わせること。

(ウ) 不在者投票証明書の点検(令第58条第2項)

(a) 選挙人が自分で投票用紙等を請求したものであるときは、不在者投票証明書を封筒のまま提出させ、その封筒が開破されていないかを点検すること。

(b) 不在者投票証明書の封筒が開破されているときは、選挙人が誤って開破したかどうかを問わず、投票させることはできない。

(c) 不在者投票をしようとする指定施設と、不在者投票証明書に記載されている指定施設の名称が一致しないときは、選挙人にその理由を聞き、正当な理由があるときには投票させることができる。

(d) 不在者投票ができる期間は、選挙の告示の日の翌日から選挙期日(投票日)の前日までのため、不在者投票可能日を確認すること。

② 投票するときの手続き(令第58条第1項)

(ア) 投票記載場所において、投票用紙に候補者1人の氏名を自書させ、これを不在者投票用内封筒に入れて封をさせ、さらに不在者投票用外封筒に入れて封をさせたいえ、外封筒の表面に署名(13頁【記載例4】参照)させて提出させること。

(イ) 不在者投票用外封筒の署名を忘れたり、不在者投票管理者等が選挙人に代わって氏名を記載してはなりません。

(ウ) 不在者投票用外封筒の下に捺印したり、不在者投票用封筒に押印して封緘する必要はありません。

(エ) 点字投票があったときの不在者投票用外封筒の表面の署名は、不在者投票用内封筒を不在者投票用外封筒に入れる前に点字で打たせること。

(カ) 代理投票を希望する者がいるとき

(a) 選挙人が心身の故障又はその他の事由により候補者の氏名を自書することができないときは、その申請により代理投票をさせることができる。

(b) 代理投票をさせるときは、立会人の意見を聞いて、投票事務従事者の中から補助者 2 人を選任し、その 1 人を代理投票の立会人とし、他の 1 人を代理記載人とし投票記載場所で選挙人の指示する候補者の氏名を記載させ、これを選挙人に確認させたうえ、不在者投票用内封筒に入れて封をし、さらに不在者投票用外封筒に入れて封をしたうえ、外封筒の表面に選挙人の氏名を記載させて直ちに提出させること。(したがって、候補者の氏名の記載及び外封筒表面への選挙人の氏名記載等は、補助者が行います。)

(13 頁【記載例 4】参照)

なお、不在者投票の立会人が補助者となることはできないので注意すること。また、代理投票をさせたときは、代理投票（仮投票）者名簿を作成すること。(14 頁【記載例 5】参照)

(c) 代理投票の事由がないと不在者投票管理者が認めたときは、立会人の意見を聞いて代理投票を拒否することができます。

(d) 代理投票を拒否された選挙人に不服があるとき又は代理投票をさせることについて立会人に異議があるときは、代理投票の仮投票をさせることになります。代理投票の仮投票の場合は、代理投票の補助者のうち投票用紙に候補者の氏名を記載した者にその者の氏名を不在者投票用外封筒の表面左下段に記載させて提出させること。(13 頁【記載例 4】参照)

なお、代理投票の仮投票をさせたときは、代理投票（仮投票）者名簿を作成すること。

(カ) ベッドの上での投票

原則として、ベッド上で不在者投票をすることはできませんが、重病人等歩行困難な選挙人の投票については、不在者投票管理者の管理下で立会人の立会いがある限り、ベッド上ですることも可能です。この場合においては、投票の秘密保持に十分注意を払い、また投票の取扱いを慎重にしなければなりません。

## 9 不在者投票の送致

不在者投票管理者は、不在者投票用外封筒の裏面に投票の年月日、投票場所、自己の職名及び氏名を記載（ゴム印等の使用も可能）し、かつ、立会人の署名（自署）した（13 頁【記載例 4】参照）不在者投票用外封筒を、不在者投票証明書がある場合はそれとと

もに他の適当な封筒に入れて封をし、その表面に投票が在中する旨を明記し、その裏面に記名押印し、直ちにこれを選挙人が属する市町村の選挙管理委員会の委員長に送致しなければなりません。（令第60条第1項）

この場合、投票の年月日及び場所の記載、不在者投票管理者の記名、立会人の署名を忘れたりすると、その投票は受理されないこととなりますので注意して下さい。

また、代理投票（仮投票を含む。）をさせた場合は、あわせて代理投票（仮投票）者名簿（14頁【記載例5】参照）を送付して下さい。

なお、投票は、選挙の当日投票所を閉鎖する時刻までに投票管理者のもとに届かなければなりませんので、余裕を持った手続きをとって下さい。

## 10 投票用紙等の返還

不在者投票のため投票用紙等の交付を受けた選挙人が、何らかの事由によって投票をしなかった場合や、選挙人に投票の意思がないことが明らかな場合などは棄権扱いとし、その者の投票用紙等は、必ず選挙人の属する市町村の選挙管理委員会に返還して下さい。

また、その投票用紙等（選挙人が自ら請求した場合の不在者投票証明書を含む。）を選挙人が属する市町村投票区の投票管理者に返還することによって、当日投票所において投票することもできます。

## 11 所要経費について

指定施設で不在者投票の事務を行っていただく場合には、投票用紙等の請求や投票した用紙を送付していただくなど、いろいろと経費がかかるため、これに要する経費として不在者投票を完了した選挙人1人につき1,073円をお支払いいたします。

この経費の対象は、不在者投票を完了した選挙人ですので、投票用紙等の請求があっても投票せずに投票用紙等を返還した選挙人については、その対象とはなりませんので注意してください。

請求の際は、選挙後9月29日までに山形市選挙管理委員会へ請求してください。

※ 請求書については、別紙資料のとおりです。

請求先（問合せ先）

〒990-8540

山形市旅籠町二丁目3番25号

山形市選挙管理委員会事務局

電話023（641）1212代 内線751、752

【記載例 1－1】

依 頼 書

私（私達）は、令和5年9月10日執行の山形市長選挙の投票を当病院（施設）において行いたいので、投票用紙及び不在者投票用封筒の交付を請求して下さるよう依頼いたします。

令和5年 月 日

選挙人名簿に記載されている住所	選挙人氏名	性別	生年月日
山形市〇〇町▲丁目□番×号	山形 一郎	男	昭和〇〇年〇月〇日
山形市△△町▲丁目□番×号	啓発 好子	女	昭和〇〇年〇月〇日
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ・選挙人の自書によることが望ましいです。                      ・自書することが困難な選挙人については代筆でも構いませんが、                      依頼書の余白にその旨を記録してください。                 </div>			

例）自書困難のため  
〇〇代筆（〇/〇）

病院長・施設長 様

【記載例 1－2】

依 頼 書

病院長・施設長 様

私は、令和5年9月10日執行の山形市長選挙の投票を当病院・当施設において行いたいので、投票用紙及び不在者投票用封筒の交付を請求して下さるよう依頼いたします。

令和5年 月 日

選挙人名簿に記載されている住所 山形市〇〇町▲丁目□番×号

選挙人氏名 山 形 一 郎

性別 男・女

生 年 月 日 明治・大正・昭和・平成 〇〇年 〇月 〇日

# 宣誓書兼投票用紙等請求書

私は、令和５年９月１０日執行の山形市長選挙の当日、下記のいずれかの不在者投票の事由に該当する見込みであり、真実に相違ないことを誓いますので、投票用紙及び投票用封筒を請求します。

なお、投票は 山形選挙病院 (市区町村) において行いたいので申し添えます。

令和５年 ○月 ○日

(あて先) 山形市 選挙管理委員会委員長

氏 名	<b>山形 一郎</b>	生年月日	明治・大正・昭和・平成 ○○年 ○月 ○日	
現 住 所	〒 <b>990-0000</b> <b>山形市○○町▲丁目□番×号</b>		電話	<b>○○○-△△△-□□□□</b>
選挙人名簿に記載 されている住所				

※「選挙人名簿に記載されている住所」は、現住所と異なる場合のみ記載して下さい。

記

不在者投票の事由

- ☐ 仕事、学業、地域行事、冠婚葬祭その他の用務に従事
- ☐ 用事又は事故のため、投票所のある区域の外に外出・旅行・滞在
- ☐ 疾病、負傷、出産、老衰、身体障害等のため歩行が困難又は刑事施設等に収容
- ☐ 交通至難の島等に居住・滞在
- ☐ 住所移転のため、本市以外に居住
- ☐ 天災又は悪天候により投票所に行くことが困難

----- [ 事務処理欄 ] -----

投票区	名 簿 番 号		直 ・ 郵	備 考
	頁	行		

## 請 求 書

選挙人名簿に記載されている住所	選 挙 人 氏 名	性別	生 年 月 日	備 考
山形市 ○○町▲丁目□番×号	山 形 一 郎	男	昭和○○年 ○月 ○日	
山形市 △△町▲丁目□番×号	啓 発 好 子	女	昭和○○年 ○月 ○日	点 字
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	
山形市			年 月 日	

上記の選挙人は、令和5年9月10日執行の山形市長選挙の当日（当病院・当施設）に（入院・入所）中のため、（当病院・当施設）において投票する見込であり、公職選挙法施行令第50条第4項（第51条第2項において準用する第50条第4項）の規定による依頼があったので、上記の選挙人に代わって、山形市長選挙の投票用紙及び不在者投票用封筒の交付を請求します。

令和5年 月 日

住 所 **山形市七日町八丁目9番10号**  
 名 称 **医療法人 山形選挙病院**  
 管 理 者 **病院長 選挙 四 郎**  
 （担当者 **山形丸男** 電話 **×××－××××**）

（あて先） 山形市選挙管理委員会委員長

備 考 選挙人から点字投票の申出の依頼があった場合は、備考欄に「点字」と記載すること。

【記載例 4】

不在者投票用外封筒

(裏)

投票年月日 令和五年四月×日

投票の場所 山形県山形市 山形選挙病院 会議室

不在者投票管理者(職・氏名) 病院長 選挙四郎

立会人(署名) (奥羽花子の自署)

交付市町村名

交付年月日 令和 年 月 日

船員が登録されている選挙人名簿の属する市町村名 県 市

船員が乗船する船舶の航海予定期間

(表)

山形市長選挙

不在者投票

(外 封 筒)

選 挙 管  
理 委 員  
会 之 印

注意

投票者欄の氏名は必ず自分で書いてください

投票者(氏名)(山形一郎の自署)

(代理投票の仮投票における代理記載人氏名)


【不在者投票】

- ・選挙人(山形一郎) ・不在者投票管理者(選挙四郎) ・立会人(奥羽花子)

(表) 投票者は、選挙人の署名(自署)

(裏) 立会人の署名(自署)

投票年月日・投票の場所・不在者投票管理者についてはゴム印等でも可

★代理投票の場合

- ・選挙人(山形一郎) ・不在者投票管理者(選挙四郎) ・立会人(奥羽花子)

- ・代理投票補助者(出羽次郎) {代理記載をするもの}、(羽前三郎)

(表) 投票者は、代理記載人において記載(仮投票の場合のみ左下に代理記載人記載)

(裏) 通常の不在者投票(上記)と同じ。

注意 投票年月日、投票場所及び不在者投票管理者氏名のいずれか一つの記載を欠く場合、又は選挙人の署名もしくは立会人の署名を欠く場合は、投票管理者のもとにおいてその投票は不受理と決定されますので注意してください。

令和 5 年 9 月 1 0 日 執行 山形市長選挙

## 代理投票（仮投票）者名簿

病院・施設名 山形選挙病院

月／日	投票区（選挙で記入）	性別	選挙人	補助者		備考
〇/〇		男	山形一郎	出羽次郎	羽前三郎	
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						

(男 名 女 名)



(参考)

## 代理投票補助者が選挙人に対し候補者の名前を聞くときの注意点

- 1 補助者は、選挙人に対し「どの候補者に投票するのですか？」と聞く場合、誘導尋問と疑われるような聞き方をしてはいけません。
- 2 選挙人が候補者の氏名を書いた紙切れ（名刺）等を持ってきたときは、補助者は黙って紙切れに書いてある氏名を記載するようなことをせず、選挙人に確かめてから記載してください。
- 3 選挙人が候補者の氏名を言えないときは、補助者は誘導尋問するように「〇〇さんですか」とか「〇〇さんですね」とか尋ねるようなことをしてはいけません。どうしても思い出せなかったり、言えないときは投票することができません。この場合に候補者を勝手に決め氏名を記載することなどしてはいけません。
- 4 投票の秘密保持に留意してください。
- 5 代理投票記載台を一般投票のものと区分して設備するよう配慮してください。